



前・長生村長

# 石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2014年9月 第103号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

## 1俵1万円以下・悲鳴を上げる農家

今年は秋雨前線が8月末に南下し早くも涼くなりました。村の基幹産業のお米は豊作でした。農協の買取り価格は1俵1万円を切り、昨年比で1俵3千円も下がり農家を苦しめています。

一方、7月には安倍総理が集団的自衛権を認める閣議決定を行い他国の戦争に日本が加担することができるようにしました。大変なことです。石井としおは7月には酒々井町を視察し8月には原爆の絵展・9月定例議会にも傍聴しました。



### 9月議会・築山工事可決

9月17日～19日、9月議会の主な内容は①25年度の財政健全化判断比率の報告、②平成25年度の一般会計・特別会計の決算の認定について、③植草清氏への教育委員任命への同意、④国からの子供・子育て支援法の制定に伴う村の条例制定、⑤一松地区の避難施設工事請負契約議案などでした。

決算の認定以外はすべて承認可決されました。財政健全化判断比率については「健全であり」まったく心配のない村の財政報告でした。尚、25年

度の決算は「特別決算審査特別委員会」に付託されました。一松地区の津波避難所2つの築山工事契約議案(約2億8千万円)が可決され26年度末に工事完了となります。

また、集団的自衛権行使容認に反対する意見書の提出を求める請願書に8名(関、鈴木、山口、ましこ、石川、門口、鈴木、立川)の議員が賛成し採択されました。国への意見書提出には千葉議員も賛成しました。

### 一般質問・モニター傍聴

一般質問を一階ロビーにおいてモニター傍聴しました。傍聴できた議員の質疑(概略)を一部ですが報告します。

A 議員…公用車の事故処理に関する専決処分の扱いについて。

小高村長…条例に基づき議会に報告していませんでしたので、今後は議会に報告します。

B 議員…緊急情報の連絡体制の整備、充実について。

小高村長…七井土の北西部など防災無線の入りが悪い地区には計画的に基地局を建設する。

C 議員…子供・子育て支援新制度と不妊で悩む方への治療支援を問う。

小高村長…子供、子育て支援策の条例制定によって村の保育料など変わることはありません。村独自の不妊治療支援は考えていません。

D 議員…乗合タクシーの早期実現と住宅リフォーム事業を来年度も実施してほしい。

小高村長…乗合タクシーはアンケートが終了し

たので職員で検討し住民ニーズにあったものを採り入れます。来年度の住宅リフォーム事業については継続していきます。

E 議員…防災(減災)対策について、稲作農家の農業経営について。

小高村長…避難タワーの「入札不調の原因は」技術者不足です。今後は資材単価や設計の見直しで4回目の入札を準備し早く契約したい。米農家への支援策は長生郡市の首長と相談し対策を協議していきます。

F 議員…村の環境政策について伺います。

小高村長…今後は環境条例を整備し村民の環境保護を守っていききたい。



## 八積地域懇談会に参加

7月5日、八積地域を対象とした村長懇談会に参加しました。石井から小高村長に質問。

Q…小高村長は幸福の科学に課税することで村長になりました。課税を取り消し寄付一億円に切り替えたことは公約違反です。

A…村長になり弁護士(新しく探す)に聞くと「裁判になっても95%勝てない」と言われ課税を取り消し一億円の寄付に切り替えました。

Q…技術専門学校跡地への総合病院誘致は、村の地域医療関係者と協議をしましたか。

A…今のところ病院誘致はできない。老人施設など県に言われている。ダメならスポーツ施設を考えています。村の地域医療関係者とは協議していません。

Q…新聞報道では「全国896の自治体が人口減で消滅」と報道されている。村の人口減少対策は。

A…長生郡市の首長と協議し対策を考えます。

※村長懇談会への参加者増を望みます。



## 脱原発学習会の報告

7月12日、東京で脱原発をめざす首長会議に出席してきました。今回は「原子力から自然再生エネルギーへのシフト」と題してドイツの政府関係、企業家との学習交流でした。

▼世話人三上湖西市長…私たちは原発が一番低コストだと考えてきましたが、一番お金がかかるのだと勉強しました。本日その資料を持参しました。湖西市は浜岡原発から60キロです。



▼ドイツ州政府(エベリンレム経済エネルギー大臣)…ドイツは福島原発の事故を通じて脱原発の正しさが分かりました。今日はドイツ国民の総意として聞いてほしい。私たちの州は5割が森林です。国は2030年までに原発をゼロにする計画です。二酸化炭素も9割減らします。自然再生エネルギーは太陽光、風力、地熱発電、バイオマスなどで電気を作ります。4つの電力会社にも協力してもらい再生エネルギーへの移行を進めています。

▼マーティンゲルナー(企業家)…日本は一般的な国と比べて22パーセント日照が多い、風力は40%つくれる。地熱発電は35%、太陽光発電は

国土の 5%で 100%の電力をつくれます。夜間の電力は蓄電の技術を使えばよい。

▼小田原市長…福島原発の事故を通じて再生エネルギーの必要を感じた。条例整備を進め農地の活用、太陽光発電の屋根貸しです。市民が出資し会社設立で電力を作っています。

※ドイツでは「電力 4 会社に自然再生エネルギーへの協力を得ている。」ということです。野田市を調査しますと農地の転用は(店舗用地と住宅が 17%、太陽光発電が 83%)となっています。村の休農地についても太陽光発電設置の検討を提案します。



## 酒々井町を視察する

7月31日、現職村長時代にお世話になった酒々井町の小坂町長に3点、お話を聞きました。

▼小坂町長…①太陽光発電の設置は 3.11 の地震津波災害を見て、原発電力ではなく、自然再生エネルギーを作っていくことが大事だと考え、小学校 2 つ、中学校 1 つ全てに太陽光発電を屋上に設置しました。現在、学校で使う電力の 3 割弱をまかなっています。売電もしています。

②小中学校にエアコンを設置しました。子供達は勉強に集中できるようになりました。保護者から「千葉市ではエアコンがないので酒々井町に転校させた」との声もあります。最近の猛暑にはエアコンは絶対必要です。

③町内の公共バスが廃止され町民の足をどう確保したらいいのか考え、乗合タクシーを県で一番

早くとりいれました。年間の経費は 3600 万円です。停留所で乗るよりもドアツードアの方がいいと思っています。町外の病院まで使え 300 円と 500 円です。制限はありません。早朝は子供の通学に乗合タクシーを有料で動かし使っています。※村も公共の建物に太陽光発電を設置したり、中学校に続き小学校にもエアコンを入れることです。乗合タクシーも早く実施することです。



## ▼原爆の絵展を見てきました

8月2~3日、原爆の絵展実行委員会は、村の文化会館において、広島

市から原爆の絵をお借りし、200名の方々が登場されたそうです。会場に来ていた皆さまの声を一部紹介します。

- ・2度と原爆は使ってはいけません。
- ・子供達に戦争はしてはいけないことを教える。
- ・東京大空襲も同じ光景でした。涙がでました。
- ・世界中から戦争をなくしていくことです。
- ・広島で生まれました。2才の時に長野県に疎開していたので助かった。自宅は爆心地から500メートル。親類は被爆で亡くなっています。
- ・原爆と人類は共存できないと思います。

※原爆も戦争もない平和な世の中を作ることが大事だと痛感しました。



## 長生村ながいき祭り

9月15日、村の文化会館において「長生村ながいき祭り」と「老人クラブ50周年記念式典」が開催されました。式典ではめでたく100才を迎えた三人が表彰されました。また、小中学校の生徒と一般公募1名による「お年寄りに思う」とした意見発表もありました。

※村を築き上げたお年寄りの皆様に改めて感謝の気持ちと、子供達のお年寄りを思う暖かい気持ちに嬉しさを感じました。

## 幸福の科学大学開校は？

2015年4月に長生村に開校を予定している幸福の科学大学に対し、文部科学省の大学設置審議会から①学部にも前例がないこと。②教員に教員経験の乏しいものが多いこと。③100項目に及ぶ質問書に対する返答書をまとめて6月下旬までに提出すること。が「リバティWEB」の記事に書かれています。①～③をクリアしなければ開校が困難のようです。

幸福の科学関係者に聞くと「6月に文書回答をし、8月に再度、審議会より意見が出され、9月に再回答したので10月には認可がもらえるかと思えます」とのこと。※結果を注目しています。

## 「私の自主防災」で安全確保

村民Aさんより投稿

この夏は各地で局地的な豪雨があり、土石流などで、多くの方が犠牲となりました。9月1日は関東大震災のあった日で忘れないように「防災の日」となっています。3年半前の東日本大震災は忘れさせようとする雰囲気があります。災害直後の公的支援は期待できません。自分の身は自分で守ってから家族や隣人を助け合いましょう。

一人一人が「私の自主防災」をしましょう。

1 「災害は来る」を常に心がけ準備しています。

- (1)家屋や家具が倒壊しないよう補強すること。
- (2)飲み物や食料品は10日分確保すること。
- (3)カセットコンロ、携帯ラジオ、LEDライト、笛、等

(4)キャンピングカー化、タッチテント、毛布等。

2 「かもしれない」という私の「自主防災」。

- (1)運転中、対向車がこちらへ突っ込んでくる。
  - (2)村で一番奥地の七井土まで津波は来るかも
  - (3)地震で出口が開かない。足が挟まり動けない。
  - (4)救援を頼んでも誰も来てくれない。通じない。
  - (5)稼働中の原発が隕石やミサイルで爆発する。
- 全国的に、自主防災に力を入れています。殆どが災害後の対応です。自主防災会の救助や避難誘導は難しい。二次災害の危険もあります。私の「自主防災」で「被災者にならない」よう心がけましょう。元気ならば、手助けができます。



▼8月30日、後援会で山梨にドウ狩りに参加された方からは「美味しい巨峰、大量に購入。大満足」との声でした。

## 編集後記

▼農家からは「1俵1万円を切ったら米作りをやれない」「安倍首相は農業所得を2倍にすると行ってきたが夢物語だ」との声を聴きました。村の基幹産業であります農業経営が一段と厳しくなっています。国、県、村の対策と支援策の強化が必要です。

▼八積地区西部工業団地の一面に化学薬品を使い塩化第一鉄などを製造する会社が進出しようとしています。周辺の農地や地下水汚染を心配し藪塚自治会の皆さんは反対しています。住民合意が整うまで県と役場は工事を進めさせないことです。

▼集团的自衛権行使に反対する請願書が採択されました。「戦争しない、平和を大切にする」議員多数の態度表明に大賛成です。

▼石井としお通信を配布して下さる方、いましたらご連絡ください。電話 090-3094-0321